

平成28年度 事業報告

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

不二たん白質研究振興財団

1. 事業の概況

平成28年度は当財団として第20期を無事終えました。当財団は平成24年4月1日を以って公益財団法人に移行後も引き続き事業を継続しており、更なる発展を期して活動して参りました。

本年度も研究助成事業（研究助成事業、報告会事業、報告誌事業）を例年通り実施し、広報事業では、ホームページ更新などに加え、東京都において栄養士・一般を対象に公開講演会を開催し、200名を超える参加者が集まりました。また、ホームページを利用して、広報活動・公募手続きのウェブ化に引き続き、検索システムの改訂などの機能充実を図っております。

さらに、関係者に限定せず、研究報告会を研究助成やその広報に関連する機関に対して御案内し、本年度も独立行政法人並びにマスコミ分野からご出席頂き、当財団事業をより広範に知って頂くことができました。

2. 事業報告

1. たん白質に関する研究及びこれに関連する研究を行う者に対する研究助成事業

(1) 平成27年度研究報告会の開催

平成27年度（第19期）助成課題として採択された被助成者は1年間の研究期間を終えて、平成28年5月30日、31日の二日間にわたり「WTCコンファレンスセンター」(浜松町)に一堂に会して研究成果を報告して頂き、活発な討議が行われました。

特定研究課題2題と一般研究課題20題、7回目の発表になる若手研究者課題10題の計32件の報告がありました。特定研究では昨年採択された2課題の報告があり、大豆成分と亜鉛吸収に関連する機能研究、筋肉委縮に対する大豆たん白質とホエーたん白質の比較研究が報告されました。一般研究では、基礎研究から栄養・医療・食生活など広い分野に渡って大豆・大豆たん白に関わる多彩な報告があり、各分野からご出席の先生方による熱心な討議が行われました。また、若手研究者枠ではポスターを囲んで各発表者の発表と質疑が行われ、機能性研究、分析手法、農業への利用、食文化に関する調査など、今年も非常に多岐の研究分野に亘った発表となりました。研究者相互の質問も多く、それぞれのご専門分野を越えて活発な論議が行われました。今回も官公庁、独立行政法人並びにマスコミ分野の各位にご出席のご案内をさせて頂きました。

(2) 平成26年度研究報告記録誌の刊行並びに平成27年度研究報告記録誌の編集

平成26年度（第18期）に採択され、平成27年度にその助成成果が報告された内容を掲載した研究報告会記録誌「大豆たん白質研究」第18巻は平成28年6月に刊行し、関係者、希望者に無料で配布されました。本誌はISSN1344-4050、CODEN DTKEFV

として公開され、国会図書館等で閲覧することができ、又科学技術文献データベース（JICST）で検索が可能です。

また、平成27年度（第19期）に採択された被助成者による研究成果を掲載する研究報告会記録「大豆たん白質研究」第19巻の編集作業は概ね完了し、平成29年6月刊行を予定しています。

（3）平成28年度研究助成金の支払い

前年度において採択された平成28年度（第20期）の一般研究への助成として、20件の課題に対して総額19,965.5千円を支払い、また若手研究者枠の助成では10件の課題に対して総額5,000千円を支払いました。同時に、特定研究への助成として、前年度採択課題2件及び新規採択課題1件に対して15,000千円を支払いました。これらの研究成果は、平成29年5月末に開催予定されている研究報告会において報告されます。

（4）平成29年度研究課題の選考

平成28年9月～11月の間に財団ホームページに募集要項を告知し、学会誌並びに学会ホームページ等に募集要項を掲載して、平成29年度（第21期）の研究助成の課題を募集したところ、一般研究課題88件、若手研究者枠17件、特定研究は新規3件及び継続3件併せて6件の応募がありました。

応募課題について選考委員長の名古屋大学松田幹教授を中心に、選考委員の熱心な選考が行われ、所定の手続きに従い、一般研究課題は21件（分野別内訳A：食品科学基礎5件、B：食品科学応用3件、C：栄養・健康科学11件及びD：人を対象とする科学2件）が採択され、若手研究者枠は10件（分野別内訳A：1件、B：1件及びC：8件）が採択されました。特定研究は新規課題3件につき慎重な審議が行われ、内1件（代表者丸山光生氏の課題名「大豆関連タンパク成分を利用した高齢者の免疫機能低下の分子機構の解明に関する研究」が選考され、継続課題3件（代表者神戸大朋氏「大豆成分による亜鉛吸収促進効果から見た記憶力改善と向上」、代表者二川 健氏「抗老化たん白質源としての大豆たん白質食の臨床試験～ホエイたん白質食との相乗効果～」及び代表者長岡 利氏「新規活性ペプチド特定を基盤とする大豆β-コングリシニンの脂質代謝改善作用の分子機構解明」）を合わせて、4件が採択されました。（総額；45,971千円）。

この選考結果は速やかに各研究者に通知されました。採択された一般研究課題21件、若手研究者枠10件及び特定研究課題4件の研究成果は平成30年度の研究報告事業で報告され、平成31年6月に研究報告記録として刊行される予定であります。

2. たん白質に関する研究及びそれに関連する研究に関する広報事業

（1）平成26年度研究成果の広報

研究報告会記録「大豆たん白質研究」第18巻に掲載された報告内容は同じくインターネット上で検索システムを付けて公開し、随時閲覧が可能としました。

（2）公開講演会の開催

平成28年10月13日には栄養士・一般の方を対象に「大豆のはたらきin東京－子供の栄

養・健康を通して-」と題して日経カンファレンスホールにて公開講演会を開催しました。

講演の1題目は女子栄養大学金田雅代名誉教授から「日本の学校給食と食物繊維-大豆食物繊維の利用研究を通して-」と題して、学校給食と日本人の食生活の問題点、特に食物繊維の不足を中心に、大豆水溶性食物繊維を学校給食で利用した食物繊維摂取量の増加と家庭生活への影響、さらには排便習慣の改善について研究事例を通してお話を頂きました。

2題目は前アメリカ心臓病協会栄養士のエミリーキャラハン先生による「アメリカ人の目からみた日本の学校給食の素晴らしさ」とのテーマでした。日本の学校給食を体験し、食べ物や生産者への感謝の気持ちを育てることに力点を置いていることが世界的にみて素晴らしいとの内容で豆腐など大豆食品も取り上げて、具体的にお話頂きました。

3題目は昭和大学医学部の今井孝成講師より「食物アレルギー 今昔物語」と題してお話頂きました。鶏卵、牛乳、大豆など食物アレルギーの原因とされる食物は徹底的な除去や回転食などの考え方が常識とされてきました。多くの新しい知見があり、大豆アレルギーについても種々のタイプがあることが判り、また食物成分が皮膚から侵入することなど最近の知見が紹介され、乳幼児の段階ではむしろアレルゲンとされる食品を摂取させることにより、むしろアレルギーが抑えられるとの最新の学術研究結果が紹介されました。

今回も関係各学会に加えて農林水産省と開催地である東京都の後援を得て、当日は200名を超える聴講者の方が参加しました。本講演の記録集は平成29年度に刊行予定であります。

3. その他目的を達成するために必要な事業

(1) 事業時報の発行

財団の内容説明と事業紹介のため「時報」第19号を刊行しました。

(2) 事業活動等の公開

平成27年度の事業報告・決算報告並びに財務内容、及び本年(平成28年)度の事業計画・予算を総てインターネット(<http://www.fujifoundation.or.jp>)上に公開しました。ここには役員・評議員等関係者の随想も掲載されています。加えて、ホームページ中で改訂が遅れていた報告会記録誌「大豆たん白質研究」の検索システムも改訂しました。

3. 会議等

注) 文書中決議事項は(議)を付した。

1. 理事会

(1) 第1回理事会の開催：定款第44条による決議

日時：平成28年5月10日(決議があったものとみなされた日)

事項：平成27年度事業報告の承認

平成27年度決算に関わる計算書類の承認

次期評議員候補者(案)の承認

次期役員候補者(案)の承認

定時評議員会(第1回評議員会)招集についての承認

(2) 第2回理事会の開催

日時：平成28年 5 月31日
場所：WTCコンファレンスセンター38階「フルール」（東京都港区）
議題：平成27年度事業報告について
平成27年度決算に関する計算書類について
次期評議員の選任について
次期役員の選任について
代表理事・理事長の選任（議）
補欠選考委員の選任について（議）
事務局の体制について（議）
平成29年度研究助成課題募集について（議）
平成28年度行事日程等について（議）
代表理事及び業務執行理事の執務の状況について

(3) 第3回理事会の開催：定款第44条による決議

日時：平成29年 1 月10日（決議があったものとみなされた日）
事項：平成28年度臨時評議員（第2回評議員会）招集に関わる事項
内容：平成29年度事業計画案及び平成29年度予算案について

(4) 第4回理事会の開催

日時：平成29年 1 月31日
場所：不二サイエンスイノベーションセンター 6 階（泉佐野市）
議題：平成29年度事業計画案について（議）
平成29年度予算案について（議）
役員等報酬規程の一部改訂について（議）
平成29年度研究助成課題の採択について（議）
次期選考委員選任について（議）
諸規定等の一部改訂について（議）
基本資産の運用について（議）
日程について（議）
代表理事及び業務執行理事の執務の状況について

2 評議員会

(1) 定時評議員会（第1回評議員会）の開催

日時：平成28年 5 月31日
場所：WTCコンファレンスセンター38階「フルール」（東京都港区）
議題：平成27年度事業報告について（議）
平成27年度決算に関する計算書類について（議）
次期評議員の選任について（議）
次期役員の選任について（議）
代表理事・理事長の選任

補欠選考委員の選任について
事務局の体制について
平成29年度研究助成課題募集について
平成28年度行事日程等について
代表理事及び業務執行理事の執務の状況について

(2) 臨時評議員会（第2回評議員会）の開催

日時：平成29年1月31日
場所：不二サイエンスイノベーションセンター6階（泉佐野市）
議題：平成29年度事業計画案について（議）
平成29年度予算案について（議）
役員等報酬規程の一部改訂について（議）
平成29年度研究助成課題の採択について
次期選考委員選任について
諸規定等の一部改訂について
基本資産の運用について
日程について
代表理事及び業務執行理事の執務の状況について

3 選考委員会

(1) 第1回選考委員会の開催

日時：平成28年5月30日
場所：WTCコンファレンスセンター38階「フルール」（東京都港区）
議題：平成29年度研究助成課題募集要項について
研究報告会の運営について
日程等

(2) 第2回選考委員会の開催

日時：平成29年1月31日
場所：不二サイエンスイノベーションセンター6階（泉佐野市）
議題：平成29年度助成課題の選考について
その他

附属明細書の作成について

- 1 事業報告に関して、その内容を補足する重要な事項はありませんので、附属明細書は作成しておりません。

以上